

■7月3日

タイ国際航空、新千歳—バンコク線、今冬Daily運航へ増便

タイ国際航空は1日、冬期スケジュール(2013年10月27日～2014年3月29日)の運航計画として、新千歳—バンコク間を現在の週4便から毎日の運航へ増便することを発表した。(関係当局の認可を前提)。

冬期スケジュールでは、乾季のタイと冬の北海道は、両国からの旅行者需要が見込めることに加え、日本入国に際して、タイ国籍へのビザの免除措置が7月より始まることを受けたもの。

(タイ国際航空 プレスリリース)7/1

<http://www.thaiair.co.jp/corporate/newsrelease/#a000475> (-> <http://www.thaiair.co.jp/corporate/newsrelease/#a000475>)

HAC、フライトポイント導入

北海道エアシステム(HAC)は7月1日より、HAC全路線について、モデルプレーンや航空券の引換が出来るフライトポイントを導入したと発表した。

フライトポイントはHACに搭乗、その搭乗半券、または搭乗案内レシートを貯めた枚数により、引き換えができるもので、日航のコードシェア便で搭乗した場合は対象外となる。

(HACプレスリリース)7/1

https://www.info.hac-air.co.jp/common/pdf/hac_20130701.pdf (-> https://www.info.hac-air.co.jp/common/pdf/hac_20130701.pdf)

(Flyteam)7/1

<http://flyteam.jp/news/article/22673> (-> <http://flyteam.jp/news/article/22673>)

ミャンマー国際航空、9月-九州発チャーター便運航

ミャンマー国際航空は9月に九州発のチャーター便を4本運航する。同社日本地区総代理店であるエーティービー代表取締役社長の小峰利徳氏によると、9月8日に宮崎、13日に熊本、18日に鹿児島、23日に長崎からチャーター便を運航。4本とも往路はマンダレー着、復路がヤンゴン発で、JTB九州の1機買い取りで実施する。トラベルビジョンが報じた。

使用機材はエアバスA320型機で座席数は145席。JTB九州によると、クルー分などを除き1機あたり125名で募集を実施しており、熊本と鹿児島についてはすでに6割が埋まっているが、宮崎と長崎は現時点では5割以下となっている。

同社は、ゴールデンウィークに成田、関空、福岡、沖縄からチャーターを計4本運航しており、ほぼ満席という実績もあり、2013年度中の定期便就航をめざし順次準備を進めている最中だという。

(トラベルビジョン)7/2

<http://www.travelvision.jp/news/detail.php?id=58132> (-> <http://www.travelvision.jp/news/detail.php?id=58132>)

ベトナム航空、中部—ハノイ線、DAILY運航へ

ベトナム航空は10月30日から、中部—ハノイ線をデイリー化する。使用機材はエアバスA321型機(ビジネス16席、エコノミー162席)。なお、現在同路線は、週5便で運航しており、需要が好調で、先ごろにも8月5日に週5便から週6便への増便を発表していた。

10月30日移行は、中部—ベトナム間路線はホーチミン線を含めて週10便となる。

(トラベルビジョン)7/2

<http://www.travelvision.jp/news/detail.php?id=58131> (-> <http://www.travelvision.jp/news/detail.php?id=58131>)

ティーウェイ航空(LCC)、佐賀—仁川線合意書調印、12月から週3便

佐賀県と韓国の格安航空会社(LCC)「ティーウェイ航空」は2日、佐賀—ソウル(仁川国際)間の定期便の開設に向け

た合意書に調印した。

合意書は、〈1〉2013年12月の運航開始〈2〉基本的に週3往復〈3〉県が路線開設から3年間、就航に必要な運航経費を支援——などを柱としている。

使用機材はボーイング737型機(約190人乗り)を使い、所要時間は約1時間20分。乗客は韓国人60%、日本人40%と想定している。年間搭乗率は70%を目指す。

運賃は未定だが、2011年にティーウェイ航空が就航した福岡空港(福岡市)―仁川の定期便(今年7月分で6500円から)と同額程度を検討している。

一方、県は就航から3年間、同社に対し、着陸料や管制塔使用料の全額補助などで、計1億5000万円を支援する方針を決めている。

(読売新聞)7/3

<http://www.yomiuri.co.jp/e-japan/saga/news/20130702-OYT8T01474.htm> (-> <http://www.yomiuri.co.jp/e-japan/saga/news/20130702-OYT8T01474.htm>)

(日経)7/3

<http://www.nikkei.com/article/DGXNZO56898800S3A700C1LX0000/> (-> <http://www.nikkei.com/article/DGXNZO56898800S3A700C1LX0000/>)

ジェットスター・ジャパン(LCC)、関空、拠点開設延期、整備体制づくりに遅れ

成田空港を拠点にするジェットスター・ジャパンは18日に予定していた関西国際空港の拠点開設を延期する。整備体制作りが遅れたため、関空を運営する新関西国際空港会社に申し入れた。関空を第2拠点として路線数を増やす計画も当面見送る。日経が報じた。

同社は当初、昨年中に関空に拠点を開く予定だったが、資格要件を満たさない整備士を従事させたことで、昨年11月に国土交通省から嚴重注意を受けた。今年に入ってもエンジントラブルなどが相次ぎ欠航が頻発していた。このためジェットスターは現行の運航形態で万全な整備体制の確立を優先すべきだと判断したという。整備体制が整い次第、関空の拠点化を目指す。

(日経)7/3

http://www.nikkei.com/article/DGXNASDD020CR_S3A700C1TJ2000/ (-> http://www.nikkei.com/article/DGXNASDD020CR_S3A700C1TJ2000/)

サウスウエスト航空(LCC)、ディッシュによる機内でのテレビ無料提供

サウスウエスト航空は、米衛星放送大手ディッシュ・ネットワークとの新たな提携契約を通じて乗客のスマートフォン、タブレット型端末、ノートパソコンにテレビ生放送を無料提供する。このサービスの取り決めは航空会社にとって乗客へのアクセスを広告市場として第三者に販売する新モデルになりそうだ。WSJが報じた。

サウスウエストは1日から保有機全体の60%余りに相当する427機の機内で、無線LAN(構内通信網)規格「Wi-Fi(ワイファイ)」に対応する乗客の端末にテレビの生放送14チャンネル、また最大75のオンデマンドテレビを無料で提供する。従来このサービスは5ドルだった。乗客に無料のテレビ番組を視聴する前にディッシュのコマーシャルをみる必要がある。

この新契約ではディッシュがサービスを提供するみかえりに乗客の端末に自社宣伝を流し、空港のサウスウエスト航空の機械や搭乗券などにも広告を掲載する。

(WSJ)7/2

<http://jp.wsj.com/article/SB10001424127887323751804578580291065326714.html> (-> <http://jp.wsj.com/article/SB10001424127887323751804578580291065326714.html>)

エアアジア(LCC)CEO、インド事業、航空機は10機ずつ増やす計画

(WSJによると)

エアアジアのトニー・フェルナンデス最高経営責任者(CEO)は1日、インド事業でエアバスの航空機を毎年10機ずつ増

やす方針であることを明らかにした。同社は、インドで競合するインディゴとスパイスジェットとの競争を勝ち抜くことを目指している。

フェルナンデスCEOは当地での記者会見で、インドのシン航空相と会談することを明らかにし、年末までにエアアジア・インドアの運航開始をする、最終承認を取り付ける見通しだとも述べた。

また、運航はチェンナイから開始する計画だという。

(WSJ) 7/2

<http://jp.wsj.com/article/SB10001424127887323751804578580931165396030.html> (->

<http://jp.wsj.com/article/SB10001424127887323751804578580931165396030.html>)

英国航空、スマートフォン活用した電子タグ、テスト開始

(PC Onlineによると)

英国航空とDesignworks社は7月から、スマートフォンとつながり、再利用可能な電子インク利用の荷札タグのテストを始める。近距離無線通信(NFC)を使ってアプリで飛行情報をこの荷札に送信すると、目的地とバーコードが電子ペーパーの画面に表示される。GPS機能はないが、画面は既存の手荷物スキャナーに対応しており、そのため空港にすでにあるインフラを新しくする必要がない。

英国航空の推定によると、このタグを利用する旅行者は、荷物を預けるのが1分以内で済むようになるという。

英国航空の従業員が3カ月間のトライアルでこのタグをテストし、来年には一般客に公開されることになっている。ただし、同社のアプリが動くすべてのスマートフォンに対応するよう、NFCは見限られてBluetoothが選ばれる可能性もある。

(PC Online) 7/2

<http://pc.nikkeibp.co.jp/article/news/20130702/1096385/?rt=nocnt> (->

<http://pc.nikkeibp.co.jp/article/news/20130702/1096385/?rt=nocnt>)